

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院における放射線性腸炎の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

研究対象：2014年4月1日から2023年12月31日までに昭和大学江東豊洲病院消化器センター・泌尿器科において放射線性腸炎に対して治療が行われた患者さん

研究対象期間：2014年4月から2023年12月まで

2. 研究目的・方法

前立腺癌や子宮癌において放射線治療が治療として行われる患者さんは多くいます。放射線照射により影響を受ける骨盤内組織や腸管に対する障害は、腸管運動の障害をはじめ、直腸およびS状結腸の出血性変化や潰瘍、狭窄、瘻孔形成、さらに小腸潰瘍などに及びます。放射線性腸炎には経過別、重症度別、病理学的な分類があり、効率的な治療戦略をたてるため各分類の特徴を把握することが重要です。内視鏡的止血術を行うことや、近年、前立腺癌への放射線治療を行う前に、放射線の直腸への影響を低減する目的で行う直腸周囲ハイドロゲルスペース・SpaceOARの留置も行われています。本研究の目的は、効率的な治療戦略をたてるためにも、当院における放射線性腸炎の現状を把握することです。

研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究機関の長の研究実施許可を得てから、2024年12月31日まで。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2014年4月1日から2023年12月31日までに昭和大学江東豊洲病院消化器センター・泌尿器科において、放射線性腸炎に対して治療が行われた患者さんの診療録の中から、検討に必要な年齢、性別、罹患部位、放射線の照射方法・照射部位、臨床症状、内視鏡所見、粘膜障害の範囲、内視鏡治療内容の種類、直腸周囲ハイドロゲルスペース・SpaceOARの留置の有無、治療内容・使用した薬剤、治療による有害事象・合併症の有無などを調査項目とします。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院消化器センター

氏名：浦上 尚之

住所：〒135-8577 東京都江東区豊洲5丁目1-38

電話番号：03-6204-6000

研究責任者：浦上 尚之（昭和大学江東豊洲病院消化器センター）